



本市では、平成17年度から「広島市里山整備士」を養成しており、現在15名が里山整備士の認定を受け、里山整備の指導に当たっています。

里山整備指導者派遣事業は、市民活動による里山整備を積極的に推進するため、市民団体からの要請により里山整備の指導者である「広島市里山整備士」を派遣する事業です。

平成20年度は、4団体がこの助成金を活用し、42名の派遣を受けて13回の活動を実施しました。

平成20年度実施状況

団体名	活動目的（活動内容）	助成額	派遣人数
寺山公園をつくろう会	可部盆地のほぼ中央部で、平成20年4月に開園した寺山公園と併せて、周辺の森を眺望の丘として整備する。 ■ 安佐北区可部町上原地区での里山林整備活動	助成額：50,000円	10名 (5回)
峠町内会	しいたけ栽培等町内会主催のイベントにおいて、地元町内会の人々とイベントへの参加者に、里山林整備の必要性と、人と森林との関わりについての認識を深めもらう。	助成額：105,000円	21名 (5回)
安芸七軒茶屋 広島が好きじゃけん組	安佐南区緑井地区の宇那木山での植樹活動を通じて、人と森林との関わりや森林体験活動の意義についての認識を深めてもらい、森林に対する意識の醸成を図る。 ■ 安佐南区緑井地区宇那木山への植樹活動	助成額：30,000円	6名 (2回)
砂谷酪農部会	地域内の里山林を除間伐し、里山林の保全を図ることができ、その伐採木を有効活用して道路看板を作成、設置したことにより、地域の観光及び農業の振興に寄与する。 ■ 佐伯区湯来町伏谷地区での里山保全活動	助成額：25,000円	5名 (1回)
計		助成額：210,000円	42名 (13回)



実施箇所

